



1 はじめに

中央大学杉並高等学校は大学の附属校として受験勉強に捉われない教育を実践している高校です。生徒は955名、専任教員数45名、東京杉並区の閑静な住宅地にあります。

2 東京の私立高校の現状

東京には429校の高校がありますが、国公立高校の192校(約14万人の生徒)に対して私立高校は237校(約17万7千人)です。東京は公立高校より私立高の方が多いという特徴があるのです。そして私立校の「防災」は、すべて各校に委ねられています。つまり私立校は災害時に計17万余の命をそれぞれの学校の工夫で守らなくてはならないという現状があります。

3 学校防災に本腰を入れる

本校では2006年におごりな避難訓練をやめました。防災士の資格を取った教員を中心に新たな防災教育を始めたのです。その後防災士を3名に増やしさまざまな工夫をして現在に至ります。資格者を中心に同一人物を「防災」に長く従事させることで、防災力を高めてきました。

4 「だれも失わない学校づくり」

過去の教訓を活かし「学校では生徒を誰一人として失いたくない」という強い意志で「生命を守る教育」を実践しています。正確な知識を持ち、自らが進んで行動することによって多くの命が守られることを生徒一人ひとりに自覚させようとしています。「誰も失

わない学校づくり」を目標に掲げ、日常的な防災教育に取り組んでいます。

5 取り組み内容

- (1) **普通救命講習全員受講** 1999年度から1年生全員が普通救命講習を受講しています。もちろん教職員も全員受講し更新し続けています。校内のだれもが救急救命法を身につけているのです。
- (2) **個人用非常持出袋** 生徒の個人用非常持出袋を教室内の見えるところに置いてあります。非常時には近くにいる生徒が手分けして全部グラウンドに持ち出します。2021年からヘッドライトを加え生徒全員が光源を持つことになりました。
- (3) **教室の防災備蓄** リュックサックに救急用品や簡易担架、汚物処理セットを入れて教卓に設置しています。授業時間に発災した場合はその教室を担当している教員はヘルメットをかぶり、リュックを背負って誘導にあたります。
- (4) **校内トリアージ** 災害時に持病のある生徒や重篤な状態の生徒のために保健室を優先的に使ってもらう工夫です。保健室には大勢の負傷者に対応する救急用品セットが大型衣装箱に入って5セット用意されています。負傷者が多い場合はこのセットを現場まで持っていき手当をします。保健室の渋滞を回避します。
- (5) **オリジナル避難者カード作成** 避難者として近隣の住民や帰宅途中の一般の方が入構してくることに備えています。英文版もあります。もちろん災害時の教室割



教室に並ぶ非常持出袋とその内容



教卓に防災リュックが掛けてあります



洋式トイレの個室に備蓄しています



配食訓練 1000食の温かい食事を作りました



家庭用のトイレステッカー



区と病院との提携を示す校門の看板

り当ても行われ、貼り紙なども準備しています。

(6)災害時アクションカード作成 本校にはいわゆる防災マニュアルはありません。アクションカードと時間経過をシミュレーションしたppt、オリジナルのHUGを用いた研修で災害に対応する準備をしています。3年に一度教員研究会で内容を確認しています。

(7)トイレの個室に災害備蓄 洋式トイレ69か所に災害時に使用する携帯トイレ(凝固剤)と生理用品、ウェットティッシュと清掃用具を専用のカバンに入れて備蓄しています。平時から個室のドアの内側に非常時のトイレの使い方プリントを貼付し、災害時特別な準備をせずに通常トイレをそのまま非常用として使用できるように準備しています。災害時の作業の大幅削減を図りました。

(8)災害拠点病院(荻窪病院)・杉並区との災害時協力協定締結 災害時に、隣接する荻窪病院に集まる負傷者の待機場所として校地を提供し、負傷者搬送などに生徒が協力することになっています。毎年

2回行われる病院の災害訓練に生徒も参加しています。

(9)「中杉の防災」小冊子の発行 学校での防災の取り組みを小冊子にして入学時のオリエンテーションで配布し、本校での防災教育のはじめの一歩としています。

(10)中杉防災アクション 生徒が家庭や地域で防災力向上の発信者になるように様々な取り組みをしています。昨年度は「非常時にトイレの水は流さない」というステッカーを作成し配布しました。

6 防災教育が地域の防災力を高めていく

長い時間をかけて少しずつ防災力を高め、命を守ることができる学校づくりを進めています。高校で防災教育をし、防災の取り組みを示すことによって、日本全体の防災力が将来的に向上していくはずですが、一つ一つの取り組みは些細なことですが、影響の大きさを認識して今後も防災教育に真摯に取り組んでいこうと考えております。

本校の「防災」についてはHPで紹介しています。御批正賜れば幸いです。

「中杉の防災」QRコード

